

新研究所の建設及び研究拠点の再編についてのお知らせ

久光製薬株式会社(本社:佐賀県鳥栖市、代表取締役社長:中富一榮、以下「久光製薬」)は、佐賀県鳥栖市に所有する事業用地に、新研究所を建設することを決定しましたのでお知らせします。

これに伴い、久光製薬、佐賀県、鳥栖市の三者による立地協定締結式が本日より行われました。

【新研究所完成イメージ】



久光製薬では、2022年2月期(2021年度)から「第7期中期経営方針」をスタートさせ、新たな企業使命『「手当て」の文化を、世界へ。』のもと、様々な商品・サービスを通じて世界の人々のQOL向上に貢献すべく企業活動を展開しています。その中で、研究開発力の一層の強化を図るため、研究体制の再構築を検討してまいりました。

今回建設する新研究所では、現在、佐賀県鳥栖市と茨城県つくば市の2拠点にあった研究機能を1拠点に集約し、研究者間の連携と協調を更に強化することで、研究開発機能を最大限に発揮するとともに、研究開発スピードの向上を図ります。また、新研究所に集約したCMC研究部門と生産部門との連携を強化するとともに、従来の貼付剤では実現できない新たなTDDS(Transdermal Drug Delivery System)製剤の開発に対応した技術拠点としての機能強化を推進します。加えて、新研究所は、省エネルギー対策や排出CO2削減など、環境へ配慮した設計としています。

久光製薬は、1847年(弘化4年)、佐賀県鳥栖市田代(当時は肥前田代)で創業して以来、当地を拠点とし、「お客様第一主義」の精神のもと、日本全国へ、そして世界各国へと商品をお届けしてまいりました。この創業の地に新たな研究体制を構築して研究開発を加速させ、世界のお客様にさまざまな商品をいち早くお届けすることを通して、これからも久光製薬は世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。

【新研究所の概要】

所在地: 佐賀県鳥栖市姫方町字嫁坂 370-1

建築面積: 約 5,669m²

延床面積: 約 23,893m²

着工: 2022年9月予定

竣工: 2024年2月予定

建設費用: 約 120億円

【立地協定締結式の様子】



(写真左から)佐賀県知事 山口 祥義 氏、久光製薬株式会社 代表取締役社長 中富 一榮、
鳥栖市長 橋本 康志 氏

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

企業戦略室 広報・IR課

TEL: 03-5293-1704